

# バンダイナムコグループを取り巻く リスクと機会

バンダイナムコグループが中長期にわたって持続的な成長を続けるためには、環境変化にスピーディに対応し、グループを取り巻くリスクと機会を認識するとともに、それらへの対応を検討し実行することで、リスクの低減と機会の最大化をはかる必要があります。トップミーティングや各種委員会において、リスクや機会となり得る情報の分析や共有を行い、対応策を検討することにより、適切なリスクマネジメント体制を確保します。また、環境の変化により生じた新たな機会をチャンスと捉え、様々な取り組みを行います。

## グループを横断する主なリスクと機会

	リスクと機会	対応
<b>IPの創出・育成・展開に伴うもの</b> 	<b>リスク</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>IPビジネスにおける競争激化</li> <li>市場や顧客の急速な変化、技術の進化</li> <li>特定のIPへの依存</li> <li>IP創出、取得、保護に関する投資増加</li> <li>IPを活用した商品・サービスの品質面等における不具合</li> <li>知的財産の侵害等によるIP価値の毀損</li> <li>IP軸戦略を推進する人材の確保と育成</li> </ul>	<p>「パーパス“Fun for All into the Future”」の浸透によるブランド価値の向上、中期計画における戦略の推進に加えて、以下の取り組みを実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規IP創出・育成、定番IP展開の強化</li> <li>多彩なIP・事業・地域ポートフォリオの確立</li> <li>外部パートナーとの協業・連携の強化</li> <li>フィジカルとデジタル両面の事業カテゴリ展開による連携等の相乗効果の発揮</li> <li>新たな事業やビジネスモデル、プラットフォームへの取り組み</li> <li>戦略的な投資の実施</li> <li>ユニットや地域間連携等、総合力発揮に向けた組織再編の実施</li> <li>品質管理体制の強化、従業員教育・サプライチェーンマネジメントの強化</li> <li>クオリティ重視の開発体制強化</li> <li>顧客データ活用によるマーケティングや需要予測精度の向上</li> <li>模倣品排除を含む知的財産の適切な活用と保護、社内外向け啓発活動の実施</li> <li>多彩な人材が活躍できる制度や仕組みの導入</li> <li>健全な財務体質基盤の強化</li> </ul>
	<b>機会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域や事業間の連携促進</li> <li>市場や顧客の急速な変化、技術の進化による新たな市場や事業、ビジネスモデル、新規IPの創出の可能性拡大</li> <li>グローバル市場における日本発IP認知度拡大による市場拡大</li> <li>新規IP創出の可能性拡大</li> <li>IPの適切な活用と保護によるエンターテインメントの持続的発展</li> </ul>	
<b>カテゴリ・エリア拡大に伴うもの</b> 	<b>リスク</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>競争の激化、ビジネスモデルの模倣</li> <li>各地域や事業に関する法令や制度、業界ルール等への対応</li> <li>各地域の顧客志向、メディア環境、商慣習等への対応</li> <li>需要増加への対応</li> <li>IP軸戦略を推進する人材の確保と育成</li> </ul>	<p>「パーパス“Fun for All into the Future”」の浸透によるブランド価値の向上、中期計画における戦略の推進に加えて、以下の取り組みを実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各地域におけるワンオフィス化の推進</li> <li>海外におけるガバナンス体制の強化</li> <li>各地域の最新情報の収集と共有体制強化</li> <li>外部パートナーとの協業・連携の強化</li> <li>現地発のIP展開、各国の嗜好や環境に合わせた商品・サービスの提供</li> <li>プロモーションやマーケティング強化による商品ブランドや企業ブランドの認知拡大</li> <li>EC対応の強化、流通網の拡大</li> <li>自社工場を含めた生産体制の拡充</li> <li>ユニットや地域間連携等、総合力発揮に向けた組織再編の実施</li> <li>品質管理体制の強化、従業員教育・サプライチェーンマネジメントの強化</li> <li>多様な人材が活躍できる制度や仕組みの導入</li> </ul>
	<b>機会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域や事業間の連携促進</li> <li>グローバル市場における日本発IP認知度拡大による市場拡大</li> <li>IPの適切な活用と保護によるエンターテインメントの持続的発展</li> </ul>	
<b>多彩な人材活用に関するもの</b> 	<b>リスク</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>IP軸戦略を推進する人材確保の競争激化</li> <li>事業基盤となるコアポレート人材の不足</li> <li>外部のクリエイター人材や外部パートナー企業との関係構築における競争激化</li> </ul>	<p>グループにおける「パーパス“Fun for All into the Future”」の浸透に加え、以下の取り組みを実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多彩な人材が活躍できる制度や仕組みの導入や統一</li> <li>グローバル人材、コアポレート人材の確保・育成</li> <li>従業員を対象としたエンゲージメントサーベイの実施による状況把握と対応策の推進</li> <li>外部パートナーとの協業・連携の推進、それに伴う新たな人材活躍の場の創出</li> <li>地域や事業を横断した人事交流の推進</li> </ul>
	<b>機会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ従業員のエンゲージメント向上</li> </ul>	
<b>情報セキュリティに関するもの</b> 	<b>リスク</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>サイバー攻撃等による情報流出や事業システムへの影響</li> <li>技術の進化、法令等の変化</li> <li>社内の情報リテラシー低下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>監視の強化や脆弱性対策の強化</li> <li>情報セキュリティ部門の拡充</li> <li>情報セキュリティ教育の強化</li> <li>最新情報の収集、外部専門家との関係強化</li> <li>世界各国の個人情報保護法令に準拠した個人情報管理体制の構築</li> </ul>
	<b>リスク</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>天災、事故等の災害</li> <li>政情変化</li> <li>法令、規制等の改正</li> <li>為替の変動</li> <li>感染症等の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>BCP、BCMに基づく訓練等の活動推進、継続的な見直し</li> <li>リスクマネジメント体制の強化</li> <li>各事業や地域の最新情報の収集と共有体制強化</li> <li>各国・地域の政府・自治体の要請や状況に基づいた取り組みの実施</li> <li>衛生管理の徹底、従業員の健康管理</li> <li>支援金の拠出や事業を通じた施策等社会的支援の実施</li> </ul>

## 各事業における主なリスクと機会

	リスクと機会	対応
<b>全事業を横断するもの</b>	<b>機会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク環境の普及・拡大</li> <li>技術の進化</li> <li>デジタル化推進による顧客とのタッチポイント拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新技術や新たなプラットフォームへの対応</li> <li>IP認知度向上の取り組みやグローバル展開の強化</li> <li>オンラインイベント等のデジタルマーケティングやEC等デジタル対応の強化</li> </ul>
	<b>リスク</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>国内における少子化の進行</li> <li>原材料や燃料の価格上昇</li> <li>輸出入取引に係る法令変更や環境変化</li> <li>脱プラスチックに向けた規制強化</li> <li>生産地域の集中と品質管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ターゲット層や展開事業、地域の拡大</li> <li>開発生産におけるバリューチェーン改革、効率化</li> <li>再資源化への取り組み、新素材の研究開発等プラスチック使用量削減への対応</li> <li>EC対応の強化</li> <li>生産体制の拡充、効率化</li> <li>生産拠点の分散、品質管理体制強化</li> </ul>
<b>トイホビーユニット</b>	<b>機会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル市場における日本発IP認知度拡大</li> </ul>	
	<b>リスク</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>開発期間の長期化と投資額の上昇</li> <li>プラットフォームの多様化</li> <li>技術の進化</li> <li>タイトル開発における人材の確保、育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クオリティ重視の開発体制強化、効率化</li> <li>新技術、新プラットフォーム、新ビジネスモデルへの積極的な対応</li> <li>スタジオ等外部パートナーとの協業・連携の推進</li> <li>最適なタイトルポートフォリオの構築</li> <li>タイトルリリース後の継続的なファンコミュニケーション</li> <li>新たな技術等の研究や情報収集の強化</li> <li>開発環境の整備、人材の獲得、育成の強化</li> </ul>
<b>デジタルユニット</b>	<b>機会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>技術進化による新たな市場や事業、ビジネスモデル等の可能性拡大</li> </ul>	
	<b>リスク</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>制作期間の長期化と投資額の上昇</li> <li>IP創出における競争激化</li> <li>作品制作における人材の確保、育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制作環境の整備、人材の獲得、育成の強化</li> <li>スタジオ等外部パートナーとの協業・連携強化</li> <li>制作技術向上のための投資</li> <li>メディア展開やライセンス強化等による作品展開や活用の機会拡大によるIP価値最大化</li> <li>グローバル展開の拡大</li> </ul>
<b>映像音楽ユニット</b>	<b>機会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル市場における作品視聴環境の拡大</li> <li>リアルエンターテインメント需要の回復</li> </ul>	
	<b>リスク</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>リアルな場を活用したエンターテインメントの多様化</li> <li>燃料価格等の上昇</li> <li>人材の確保、人件費の上昇</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>IPや商品・サービス等グループリソースとの連携強化</li> <li>効率化の推進、事業の安定基盤強化</li> <li>組織再編による各事業に特化した人材獲得・育成の強化</li> <li>多様な働き方への対応</li> </ul>
<b>アミューズメントユニット</b>	<b>機会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>リアルエンターテインメント需要の回復</li> </ul>	
	<b>リスク</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>BCP、BCMに基づく訓練等の活動推進、継続的な見直し</li> <li>リスクマネジメント体制の強化</li> <li>各事業や地域の最新情報の収集と共有体制強化</li> <li>各国・地域の政府・自治体の要請や状況に基づいた取り組みの実施</li> <li>衛生管理の徹底、従業員の健康管理</li> <li>支援金の拠出や事業を通じた施策等社会的支援の実施</li> </ul>	